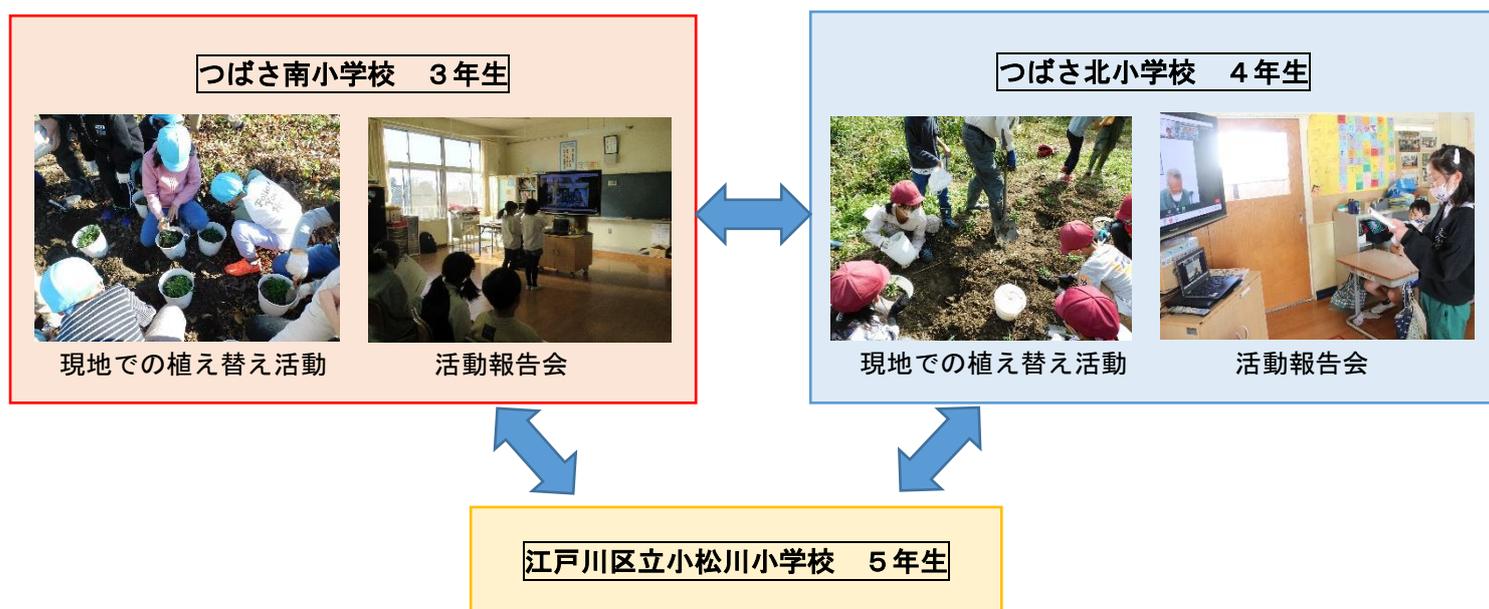


## オンラインによる学校間交流（つばさ南小・つばさ北小・江戸川区立小松川小）

2月16日（木）、つばさ南小学校3年生・つばさ北小学校4年生・江戸川区立小松川小学校5年生（2クラス）が、荒川の自然再生活動を通じ、オンラインによる活動報告会を行いました。



子ども達は、自分達が手を入れることで、郷土の自然を守ることに貢献できることを前向きに受け止めていました。また、お互いの活動報告を通して学校同士の交流が深まりました。

旧出丸小学校では、三ツ又沼ビオトープ（荒川河川敷）の自然環境を守る活動を行っていましたが、つばさ南小学校ではこの活動を継承し、3年生が、年間3回ほど実際に三ツ又沼に出かけ、在来植物を守るために外来植物の駆除（刈取り）活動を行ったり、在来種であるカワラナデシコやハンノキ等の植え戻し作業を行っています。

つばさ北小学校でも、3年前（今年で4回目）から、荒川河川敷の自然環境を守る活動に取り組んでおり、4年生が、太郎右衛門橋下の荒川河川敷で、外来植物の駆除（刈取り）活動を行ったり、在来種であるカワラナデシコの植え戻し作業を行っています。

これらと同様の活動を、江戸川区立小松川小学校でも行っていることから、埼玉県生態系保護協会の仲立ちにより、今年度から、3校の交流学习が始まりました。

ちなみに、つばさ南小学校とつばさ北小学校で植樹した、在来種のカワラナデシコは、小松川小学校から頂いた物です。



荒川太郎衛門地区自然再生協議会のパンフレットから



【ハンノキ】

科名：カバノキ科  
 分類：落葉広葉  
 原産地：日本、東アジア  
 大きさ：10～15m



【カワラナデシコ】

科名：ナデシコ科  
 分類：多年草(常緑)  
 原産地：日本、東アジア  
 大きさ：背丈 30～50 cm、横幅 15～30 cm